学校番号	T4001

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	（学）ICT ﾍﾞｰｼｯｸｽｷﾙｽﾞ	単位数	１単位	年次	１～４
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日々の授業や日常生活において、一人一台端末をはじめとした各種 ICT 機器に関する基礎的な知識や PC 基本操作、情報倫理などの高校生として最低限必要な情報の学習を総合的に行います。現代の情報社会における基礎的な知識と技能を習得し，本校での学習におけるリテラシーを身につけることをめざします。

記号やインデントを活用し可読性を考慮した高度なタイピング技術や、プログラミングコードの入力に必要な基礎技術を身につけます。マクロを活用した処理の自動化やアルゴリズムの基礎概念を習得することで、効率よく課題を処理する力を身につけるとともに、効果的な検索方法を用いて必要かつ確度の高い情報に触れることができるようになる授業を展開します。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
記号の入力やインデントを活用し可読性を考慮したタイピング技術など、プログラミングコードの入力に必要な基礎技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
マクロを用いた処理の自動化や、アルゴリズムの概念を学べるパズルへの挑戦、さらに効果的な検索方法を活用した調べ学習などを通して、自らの考えをまとめ、裏付け、表現できる力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
ICT 技術の習得が自らの生活をより豊かにしていくことを理解し、その知識や技術の向上のために粘り強く課題に取り組み続ける意欲や態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	与えられた課題の内容に応じて、適切な操作を行うために必要な知識と技能を身につけている。	与えられた課題の内容を読み解き、求められる結果を導くために必要な操作手順や用いることができている。	自らに不足している知識や技能を認識し、改善しようとする態度や粘り強く学修に取り組もうとする姿勢を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１０月	通信技術・タイピング応用	●ブロードバンド通信やWifi、モバイル回線など様々な通信技術とそれぞれの役割について理解する。 ●Bluetooth や赤外線通信、非接触 IC など無線で行われる技術とそれぞれの役割について理解する。 ●通信技術の発展が世界にどのような変化をもたらしたのか、自分の意見と考えをまとめ、プレゼンテーションを作成し発表する。 ●記号や演算子などの入力方法を学び、プログラミングコードの入力に必要な様々な文字の入力方法を理解する。	a:さまざまな通信技術の概要や特徴、役割について理解できる。 a:記号や様々な演算子を入力することができる。 b:通信技術の発展がもたらした影響について、自分の言葉で述べることができる。 c:粘り強くプレゼンテーションを作成し、内容をより良いものにしようとしている。	成果物 ワークシート	成果物 ワークシート プレゼンテーション	成果物 振り返りシート ワークシート
１１月	バッテリーの歴史と未来・マクロの基礎	● コンピュータの動作に欠かせないバッテリー技術の歴史と将来の展望について理解する。 ● 現在主流のリチウムイオンバッテリーの取り扱いや危険性について理解する。 ● 未来のバッテリー技術について調べ学習を行い、考察をまとめ、発表する。 ● GAS を用いて簡単な作業自動化に挑戦する。	a:バッテリーの役割や機能について理解できる。 a:GAS を用いて簡単な自動化処理を行うことができる。 b:未来のバッテリー技術について、利点と課題と実現性を考慮したレポートを作成することができる。 c:最新の情報ソースをもとに自分の考えをまとめ、自分の意見を述べることができる。	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート	成果物 振り返りシート ワークシート
１２月	セキュリティ・アルゴリズム基礎	● 日常生活で直面しやすい情報セキュリティリスクについて、IPA が公表している「情報セキュリティ 10 大脅威」をもとに概要を理解する。 ● 過去 10 年程度の「情報セキュリティ 10 大脅威」の変遷を調べ、テクノロジの進歩と脅威がどのような関係性を有しているかをレポートにまとめ、発表する。 ● 「アルゴロジック」などを用いてアルゴリズムの考え方の基礎を理解する。	a:「情報セキュリティ 10 大脅威」で取り上げられている脅威の概要と対策方法について理解できる。 a:アルゴリズムと自動化について基本的な概念を理解できる。 b:「情報セキュリティ 10 大脅威」の時代によって変化する内容と、その当時浸透し始めた新技術との関連性について考えることができる。 c:粘り強く最新の情報を調べ、レポートの作成に取り組んでいる。	成果物 ワークシート	成果物 ワークシート	成果物 振り返りシート ワークシート

1月	ソフトウェア・コード写経	● 基本ソフトウェア（OS）と応用ソフトウェア（アプリ）の違いと役割について理解する。 ● BIOS、UEFI と基本ソフトウェアの関係とそれぞれの役割について理解する。 ● アプリケーションが動作するために必要な環境について理解できる。 ● ソフトウェアの果たす役割と重要性について理解し、プログラミングを学習する必要性についてレポートを作成し発表する。 ● 実際に簡単なプログラミングコードを手本通りに入力し、動作させてみる。	a:様々なソフトウェアの機能や役割について理解できる a:コンピュータの利活用におけるソフトウェアの重要性について理解できる。 a:手本を参考に、実際に動作するプログラミングコードを入力することができる。 b:1 人 1 人がプログラミングを学習することによる効果､影響について考えることができる。 c:ソフトウェアの重要性と今後の展望について､自分の言葉で述べることができる。	成果物 ワークシート 小テスト	成果物 ワークシート	成果物 振り返りシート ワークシート
2月	クラウド技術・コード改変	● クラウドストレージ技術について、その利便性とリスクについて理解する。 ● クラウドの有無によって授業内での成果物のやり取りがどのように変化するか考え、クラウドを利用する利点と、そこに潜むリスクについてレポートを作成する。 ● 手本通りに入力したプログラミングコードを改変し、動作が変化する様子を確認する。	a:クラウドストレージ技術の概要と社会での活用のされ方を理解できる。 a:入力したコードの動作と改変したコードの動作の関連性について理解できる。 b:クラウド技術の利便性とリスクについて､自分の考えを自分の言葉で述べることができる。 c:粘り強く最新の情報を調べ、クラウド技術の利点とリスクをレポートにまとめようとしている。	成果物 ワークシート	成果物 ワークシート	成果物 振り返りシート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度